



2021年10月22日

各 位

会社名 宇部興産株式会社
 代表者名 代表取締役社長 泉原 雅人
 (コード 4208 東証第1部・福証)
 問合せ先 財務・IR部長 石川 博隆
 (TEL.03-5419-6116)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年5月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

2022年3月期第2四半期累計期間連結業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (2021年5月12日発表)	百万円 270,000	百万円 13,500	百万円 11,500	百万円 5,500	円 銭 54 38
今回修正予想(B)	306,500	19,000	17,800	9,500	95 43
増減額(B-A)	36,500	5,500	6,300	4,000	
増減率(%)	13.5	40.7	54.8	72.7	
(参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	280,013	3,410	1,520	272	2.69

2022年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2021年5月12日発表)	百万円 570,000	百万円 37,000	百万円 34,500	百万円 21,000	円 銭 207 62
今回修正予想(B)	635,000	39,000	33,500	19,500	197 66
増減額(B-A)	65,000	2,000	△1,000	△1,500	
増減率(%)	11.4	5.4	△2.9	△7.1	
(参考)前期実績 (2021年3月期)	613,889	25,902	23,293	22,936	226.79

修正の理由

(第2四半期累計期間)

売上高は、海外経済の回復を背景に化学品の需要が好調に推移し、ナイロン・合成ゴム等の価格が上昇したことから、前回予想を上回る見込みです。営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、石炭価格等の上昇によるコスト増加はあるものの、化学セグメントにおける利益の上振れにより、前回予想を上回る見込みです。

(通期)

売上高は、ナイロン・合成ゴムなど化学品の需要堅調及び石炭価格上昇の影響により、前回予想を上回る見通しです。営業利益は、石炭価格上昇の影響はあるものの、化学品の需要が引き続き堅調に推移し、前回予想を上回ると見通しています。経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、セメント販売・物流のコストアップやセメント事業等の統合に伴う準備費用増など持分法投資損益の悪化の影響が大きく、前回予想を下回る見通しです。

配当予想については変更ありません。

(参考) 2022年3月期業績予想 セグメント別売上高・営業利益 (連結)

(単位: 億円)

項目	セグメント	2022年3月期						2021年3月期	
		前回予想		今回予想		増減		実績	
		第2四半期 累計期間	通期	第2四半期 累計期間	通期	第2四半期 累計期間	通期	第2四半期 累計期間	通期
売上高	化学	1,300	2,800	1,575	3,220	275	420	1,123	2,593
	建設資材	1,000	2,000	1,055	2,170	55	170	1,391	2,828
	機械	400	950	455	1,000	55	50	349	787
	その他	15	30	15	30	0	0	14	31
	調整額	△ 15	△ 80	△ 35	△ 70	△ 20	10	△ 78	△ 101
	合計	2,700	5,700	3,065	6,350	365	650	2,800	6,138
営業利益	化学	75	205	145	280	70	75	△ 25	81
	建設資材	45	115	20	60	△ 25	△ 55	56	147
	機械	15	50	23	50	8	0	2	28
	その他	2	5	2	4	0	△ 1	1	4
	調整額	△ 2	△ 5	0	△ 4	2	1	△ 0	△ 3
	合計	135	370	190	390	55	20	34	259

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、最終の業績は今後様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

以上